MARUTANE
Quality Seeds

宇治交配 春の姫まくら (MWX-702)

低温期の栽培に向く、食味の良い楕円こだま

特　性

① つるは細め、葉は切れ込みの深い中大葉で、低温伸長性に優れ、雌花の着生、雄花の花粉発生も良く着果が安定します。

② 果実は2～2.5kgの長楕円形で果皮の緑色が濃く、中太の縞とのコントラストが鮮明な見栄えのする外観です。

③ 果肉は濃鮮紅色で色ムラが少なく、「姫まくら」よりやや軟らかいものの、シャリ感の強い肉質で糖度も12度以上に安定します。

④ 果皮は4～5mmと薄いですが硬く、栽培中や輸送中の裂果が極めて少ない品種です。

⑤ 肉質がやや軟らかい早生品種で、低温期の伸長性、着果性、肥大性に優れるため、ハウス～早いトンネル作型に向きます。低温期でも果肉の色付きや糖度は安定しています。

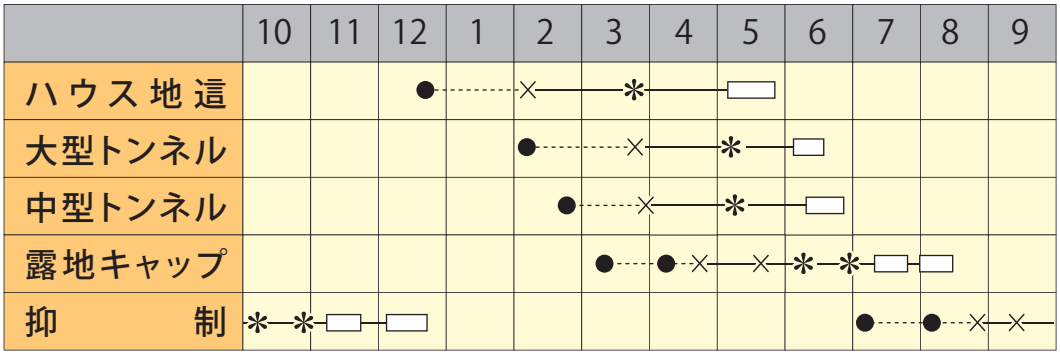
⑥ 高温期の収穫では、肉質が軟化する可能性があるため、「姫まくら」などの硬肉系の品種の方が適します。

栽培のポイント

① 初期より草勢が旺盛なため、施肥量は前作や土質、作型によって加減し、大玉品種より20～30%減量します。また大苗で定植するようにします。

② 整枝方法は5本仕立て4果取りを推奨します。18～23節の3番花に着果させるとバランスのよい楕円形になります。

下記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。



● 播種　…… 育苗・接木　× 定植　── 生育　✻ 交配　▭ 収穫